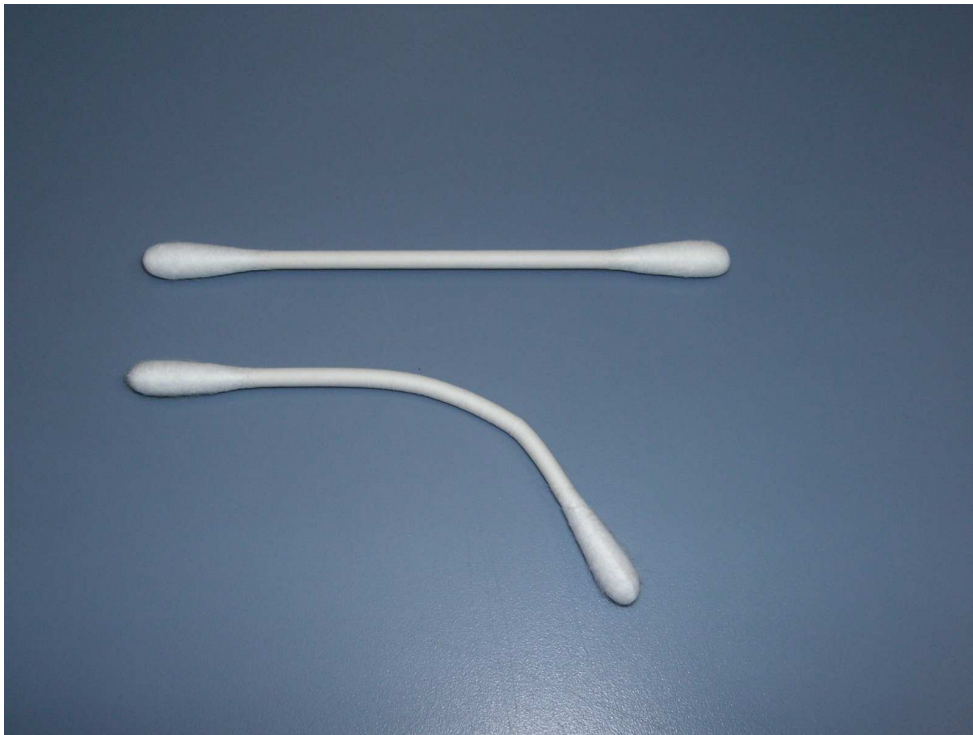


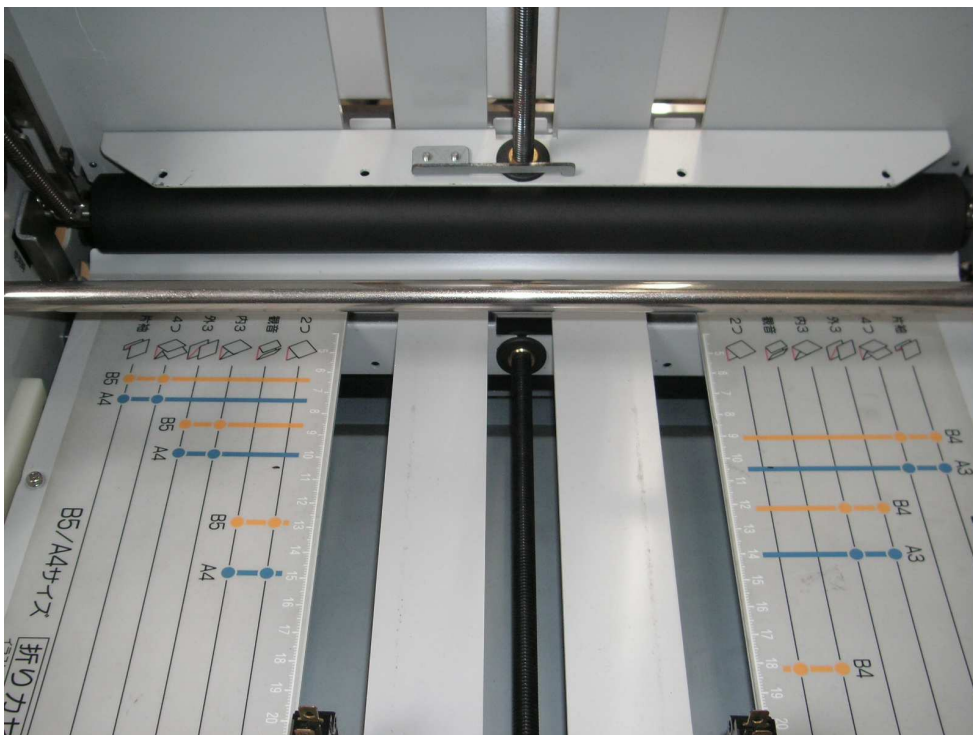
## ライオン事務器 自動紙折機 LF-821N 排紙センサー清掃方法

排紙センサーとは、光（赤外線で見えませんが）で用紙の有無を検知するセンサーです。  
光を出す側と、光を受ける側があります。（両方清掃する必要があります）

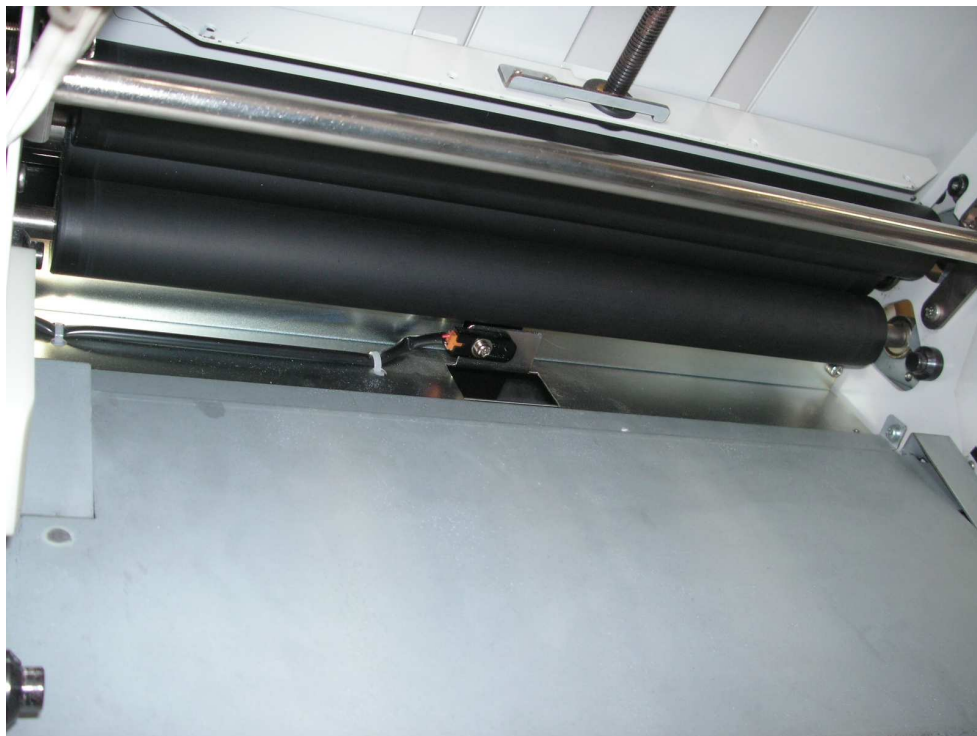
① 綿棒を1本ご用意下さい。綿棒を写真のように曲げて下さい。



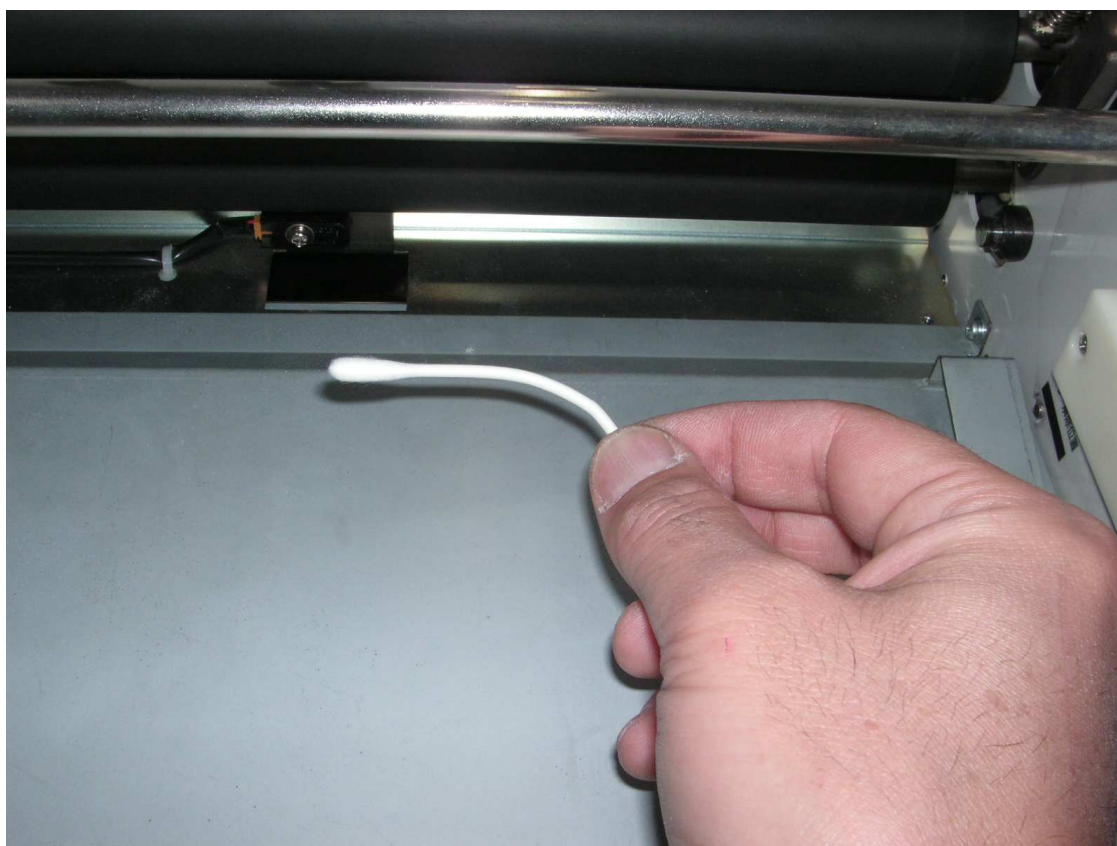
②電源スイッチを必ずOFFにしてから作業してください  
折りカセット2を取り外します。

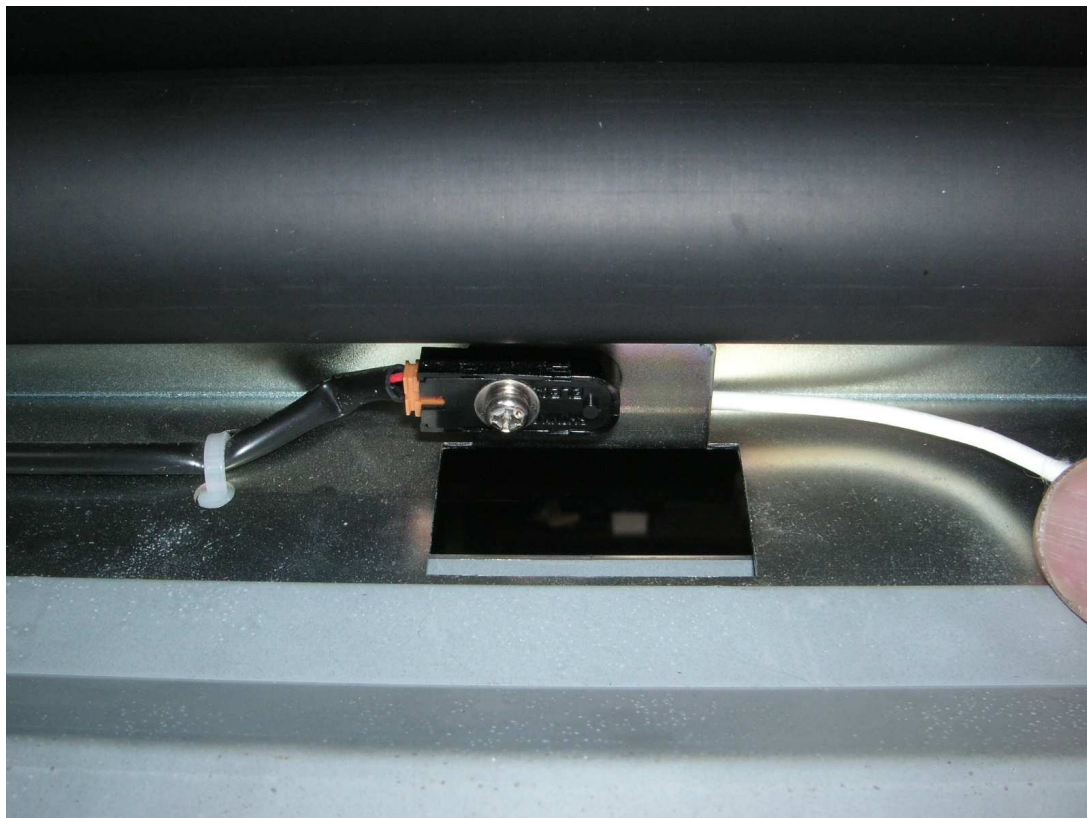


③写真中央のオレンジ色のソケットが刺さっている、黒いプラスチック部品が、光を受け取るセンサーです。



④曲げた綿棒で、写真を参考に差し込んで清掃して下さい。





⑤光を出す側のセンサーを清掃します。

位置は下の写真を参考にして下さい。（排紙側からの写真です）

まず、直径5ミリほどの丸い突起を指で探ってください。





⑥見つかりましたら、ティッシュペーパーなどで拭いてください。以上で清掃完了です。

⑦清掃できたか確認します。

スタートボタンとテストボタンを同時に押しながら、電源SWを押します。

排紙センサー部分を手でかざすと、カウンタ中央横線が点灯、消灯を繰り返せば正常です。

#### 各モードのセット方法と内容

モード	セット方法	内容
通常モード	電源をONする	通常の折り作業をする A 3～B 6 サイズまでの用紙に対応する
ショート給紙モード	テストキーを押しながら電源をONする	小型用紙の折り作業をする A 6・B 7 サイズの用紙に対応する
ロング給紙モード	スタート/ストップキーを押しながら電源をONする	厚手の用紙の折り作業をする 上質紙 1 3 5 kg A 3 サイズに対応する
テストモード	スタート/ストップキーとテストキーを両方押しながら電源をONする	<p>センサーやクラッチの試運転をさせる テスト クラッチ ON/OFF スタート/ストップ メインモータ ON/OFF</p> <p>用紙SWとテーブルレベルSW両方ONの時に点灯する</p> <p>排紙センサーが受光時(排紙なし)に点灯する</p> <p>周波数切換SWが50Hzの時に点灯する 周波数切換SWが60Hzの時に消灯する</p>